

- ③ 作業機器の定期的な点検を実施し、機械作業についてはヘルメット、安全ベルト、立て看板等の設置など、事故防止に努める。
- ④ 就業時だけでなく、就業途中における交通事故防止や健康管理に留意するよう、会員の意識高揚に努める。

目標 事故件数 ゼロ

5. 技術、技能講習の推進

- ① 技術、技能を必要とする職種については、研修、講習会等を実施して技術の向上を図るとともに、会員の育成に努める。
- ② 発注、利用者等に満足いただけるサービスの提供を図るため、会員や職員の接遇研修等を実施し、資質の向上に努める。

6. 会員同士の交流の活性化

- ① 互助会と連携を図りながら、各種活動に会員の積極的な参画を促し、会員同士や事務局との情報交換に努める。
- ② 高齢者の健康の源は、適度の運動と人との触れ合い（交流）であり、会員の意見を取り上げた行事を企画し、会員の活性化に努める。
- ③ 地区懇談会を開催し、様々な意見や要望を集約して今後の事業推進に活かす。

7. 持続可能な組織体制

- ① シルバー人材センターの基本理念である「自主、自立・共働、共助」の実践に向けて、会員参加の自主組織である「安全・適正就業委員会」「就業開拓・普及啓発委員会」「総務委員会」「ハウス部会」の組織活動の活性化に努める。
- ② 公益社団法人として諸法令を遵守し、諸経費の節約を図りながら事業の健全経営に努める。
- ③ 各種研修に参加して常に最新情報を得て、様々な事業展開に対応できるよう努める。
- ④ 独自の役員研修等の開催により、役員の資質向上と積極的なセンター事業の運営に努める。